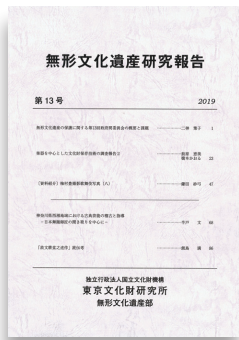


無形文化遺産部出版関係事業(△04)

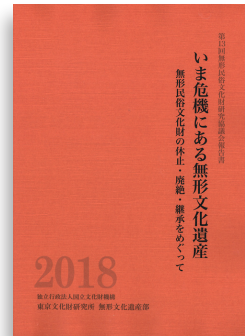


『無形文化遺産研究報告』

無形文化財や無形民俗文化財、文化財保存技術に関する研究論文、調査報告、資料紹介等を掲載している。

『無形民俗文化財研究協議会報告書』

無形文化遺産部では毎年テーマを定め、保存会関係者・行政担当者・研究者などが一堂に会して無形の民俗文化財の保護と継承について研究協議する会を開催している。第13回にあたる本年度は、「いま危機にある無形文化遺産—無形民俗文化財の休止・廃絶・継承をめぐる—」をテーマとして開催し、その報告・総合討議の内容などをまとめて報告書として刊行した。



保存科学研究センター

2-(4)-②-1

『保存科学』第58号の出版(ホ07)



『保存科学』第58号

佐野千絵、稲葉政満(東京藝術大学大学院美術研究科教授)、和田浩(東京国立博物館)、中山俊介、早川泰弘の5名からなる編集委員会を編成、投稿された15件全ての原稿に対して、査読委員による査読を実施、報文2件、報告11件、計13件の掲載を決定した。

ウェブページURL

<https://www.tobunken.go.jp/~ccr/pdf/58/MOKUZI158.html>

広報委員会

『東京文化財研究所概要』、『TOBUNKENNEWS』

『東京文化財研究所概要』は当研究所の組織や活動内容を、写真を多用して日英2ヶ国語により簡潔に紹介している。平成30年度の概要はA4判37ページ。

『TOBUNKENNEWS』はウェブサイトに公開した毎月の「活動報告」から、紙媒体に適した記事を精選し、文化財保存に関するコラム、刊行物紹介等とともに掲載している。A4判。平成30年度はNo.67(7月刊、52ページ)、68(11月刊、48ページ)、69(2019年3月刊、48ページ)を刊行した。

『東京文化財研究所概要』、『TOBUNKENNEWS』はそれぞれ、各部・センターからの部会員で構成される東京文化財研究所広報委員会の概要部会、ニュース部会が作成し、編集事務はいずれも研究支援推進部企画渉外係が担当している。

